

## 第2回 広島大学地(知)の拠点円卓フォーラム開催案内 (中山間地域・島しょ部対策領域)

### 地方創生の原動力、持続可能な地域志向型教育 ～地域・大学連携の今とこれから～

開催日時：2015年7月22日(水) 14:35—17:30

開催場所：広島大学 生物生産学部 C206

#### 【開催趣旨】

広島大学が取り組んでいる「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」では、条件不利にもかかわらず、優れた活動を行っている地域住民、コミュニティ、地方自治体と強く連携し、学生に体験活動やフィールドワークを通して、地域の現場で起こる様々な問題を認識・学習してもらい取り組みを行っています。このような活動を通じて、大学による地方創生への貢献と参画をめざしています。

昨年12月に開催しました第1回円卓フォーラムでは、連携地域及び、市町の皆様から、示唆に富むご助言とご批判をいただきました。生物生産学部では、それらを踏まえて、本年度の活動を実施しているところです。

第2回円卓フォーラムは、2年間の活動を通じて得られた地域志向型教育の成果と課題についてご報告し、連携地域と市町の皆様より忌憚のないご意見をお伺いしたいと存じます。また、体験授業、特別講座、インターンシップ、地域課題研究等へのご協力を通じて、地域創生活動に結び付く大学での人材育成のあり方について、ご検討をお願いする次第です。

#### 【円卓フォーラムの構成】

第1部は、「学生と地域とのエール交換」と題して、中山間地域・瀬戸内海島しょ部において体験学習を行った学生と、受け入れていただいた地域の皆さまとの間で膝を突き合わせて、相互に意見や提言・苦言を交換し合います。

第2部は「広島県の地(知)の拠点 円卓フォーラム」とし、受け入れ地域・自治体・大学による交流と連携の成果を踏まえ、大学における地域志向型教育と人材育成のあり方について、ご提案をいただきたいと存じます。地方創生の原動力になる人材育成を大きな目標に掲げます。

#### 【円卓フォーラムの課題】

- 学生と教員は、地域志向型教育の成果と課題をどう考えているか
- 受入地域と市町からみた地域志向型教育が抱える課題
- 2年間の活動が地域に与えたインパクト  
インターンシップ、地域課題研究、ボランティア活動、等への期待
- 地方創生活動に結び付く大学での人材育成のあり方
- 第1回円卓フォーラムでいただいた課題への取組状況

## 【プログラム】

○開会式 [14:35~14:40] 総合司会：善村支援室長

- ・植松研究科長あいさつ

○第1部 [14:40~16:05、 C 2 0 6] 進行：天野特任助教

### 「学生と地域とのエール交換」(現地体験発表と地域との意見交換)

- ・富永ゼミ (河内町小田ファーム・おだ) 【田植え体験】
- ・吉田ゼミ (大崎上島町シトラスかみじま) 【ハウスせとかの摘果】
- ・太田ゼミ (大崎上島町海藻塾)  
【海岸清掃、シーカヤック、海藻観察・採取・調理品試食】
- ・都築ゼミ (安芸津町 JA 芸南) 【ビワ収穫・選別、ビワの葉茶用の茶葉採取】
- ・船戸ゼミ (三次市布野町道の駅ゆめランド布野)  
【アスパラガス収穫、江の川清掃、アイスクリームの製造体験】
- ・まとめ 浅川チューター長

○第2部 [16:20~17:25、 C 3 1 6] 総合司会：善村支援室長

### 「地方創生の原動力、持続可能な地域志向型教育」

- ・石川副理事あいさつ
- ・趣旨説明 山尾教授
- ・体験学習2年間の活動の成果 天野特任助教
- ・体験学習から地域志向型教育への発展 細野准教授
- ・討論 (司会：細野准教授)
- ・コーディネーターからの提案 大泉 CO
- ・まとめ 山尾教授

○閉会式[17:25~17:30]

- 河合研究科長補佐 あいさつ

## 【参集者】

学生、市町、地域、広島大学関係教職員 約150名

※第2部は、授業のため1年生は退席します